

平成29年度の活動 ※空調設備工事のため、平成29年5月15日～平成30年1月19日休館

〔参加校〕 10校（特派員の人数112名）

水戸第一高等学校、水戸第三高等学校、緑岡高等学校、水戸商業高等学校、水戸桜ノ牧高等学校、水城高等学校、水戸葵陵高等学校、大成女子高等学校、水戸女子高等学校、茨城高等学校

〔活動内容〕

1 第1回特派員交流会

日時：平成29年7月14日（土） 15：30～17：00

場所：茨城県立文化センター集会室

参加校：2校

水戸第三高等学校、水戸葵陵高等学校

参加人数：生徒5名、顧問の先生2名

話し合いテーマ：「文化芸術の振興を若い世代の方々に普及啓発していくためには」

「展覧会等のおもしろさを SNS で積極的に発信してはどうか」「近美の HP を『お気に入り』に入れ、活動を実践してはどうか」「若い人が集まる場所で PR してはどうか」「来館したお客様にちょっとしたプレゼントなどをわたすといいのではないか」等、参考となる意見が数多くありました。



2 第2回特派員交流会

日時：平成29年11月8日（水） 15：00～17：00

場所：茨城県近代美術館 会議室

参加校：8校

水戸第一高等学校、水戸第三高等学校、緑岡高等学校、水戸桜ノ牧高等学校、水城高等学校、茨城高等学校、大成女子高等学校、水戸葵陵高等学校

参加人数：生徒48名、顧問の先生7名

話し合いテーマ：「芸術振興のために私たち(特派員)にできること」



特派員を7グループに分け、顧問として各高校から来ていた先生方(7名)に各グループの司会進行を務めてもらい、「芸術振興のために私たち(特派員)にできること」というテーマで話し合いました。

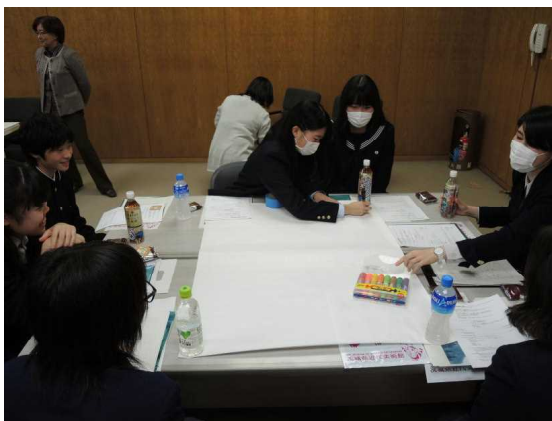
「学校で出来ること」「友達同士で出来ること」「美術館と一緒に出来ること」に分けて話し合い、各グループの意見をまとめたものを最後に発表してもらいました。若者らしいユニークな意見、的を射た意見など数多く発表され、今後の事業に生かしていく予定です。



1 班の様子



2 班の様子



3 班の様子



4 班の様子



5 班の様子



6 班の様子



7 班の様子



皆さん、真剣に考え中！



それぞれのアイデアを模造紙に書き出している様子



模造紙を張り出しました



発表の様子①



発表の様子②

3 公用車マグネットシート制作

親しみのあるデザインに仕上げてくださいました。

水戸第三高等学校



4 フォトスポットの設置

特派員の意見を参考にし、展覧会に関連づけたフォトスポットをつくりました。



企画展「美術館へのおくりもの」
展示室出口に設置しました。

平成29年度第2回特派員交流会

〈話し合いテーマ〉「芸術振興のために私たち(特派員)ができること」

特派員からこのような意見がありました。下線は、すでに取り組んでいるか、または、皆さんから意見があり美術館が試みたことです。

【学校で出来ること】

1 班

- ・ポスター掲示 楽しいかんじのものや、インパクトのあるもの
- ・自分たちの活動を PR 廊下の一部に美術部の作品を飾る、製作過程を見せる

2 班

- ・ポスター制作とポスター掲示
- ・クラスに1枚展覧会のポスターを貼る
展覧会毎に、特派員の人数分のポスターを学校に送ることにしました。クラスや美術室前廊下などに掲示してください。
- ・チラシパンフレットの配布
- ・授業、部活の一環としてレポート
「特派員レポート」を始めました。特派員の皆さんに美術館に来館の際、感じたこと知らせたいこと等をレポートに書いてもらい、当館 HP に掲載させて頂いております。随時受け付けています。
- ・芸術鑑賞会
学校として、学年で、部活として等、来館頂いております。
- ・校内展、文化祭作品展示
- ・茨大の文化祭に作品を展示

3 班

- ・目をひくポスターの作成
- ・学校での伝統芸能鑑賞→敷居を低くすることで親しみやすく
- ・授業の成果物を校内展示→他の生徒から感想をもらえる
- ・実際に体験する機会を得る

4 班

- ・学校（部活）でポスターを製作→学校内で掲示
- ・ポスターをかわいく飾って学校の目立つところにおかせてもらう
- ・生徒の興味をそそるような展示のポスター（チラシ）を配る
- ・生徒に興味をもってもらえるような活動をする（プリント、掲示物）
- ・「美術部だより」→制作の技法等
- ・校内放送
- ・学校行事で美術館へ行く
学校として、学年で、部活として等、来館頂いております。
- ・「芸術振興のために」自分たちの作品を定期的に校内で展示
- ・ポスターで活動内容まとめたものを掲示
- ・パンフレットみたいのをつくる
- ・たくさんの生徒の目につくところでもっと宣伝をする
- ・学校にある芸術作品にもっと触れてもらえるようにつとめる
- ・交流会の様子を学校でも分かってもらえるような展示をする（関心をあおる）
PTA 総会等で美術部の様子、特派員の様子を紹介する(水戸第三高等学校)。
- ・美術部以外でも特派員をふやす
- ・休みの日等に美術館に展示を見に行く人を募集する
- ・美術に関するアンケートをとり、展覧会に行きたいと考えている人を集め展覧会に行く
- ・授業で「美術鑑賞」の時間をつくる
- ・美術館にいった特派員が展覧会の感想を書くだけでなくポスターを描いて学校に貼る
→特派員と行くと料金が安くなるのがあまり知られてないので掲示板などで宣伝
- ・美術館の良いところや展示内容などを冊子などにまとめてくばる

5 班

- ・写真部とコラボする

6 班

- ・ポスターの作成
- ・美術館についての自作ポスターをつくる
- ・美術室以外でポスターを掲示する
- ・美術館に飾ってある絵の写真を掲示する

所蔵作品をアートカードにしているものがあるので、学校に2セット配布します(アートカードの裏に解説が掲載されているため)。

- ・校内放送を利用する (放送部や生徒会とコラボ)
- ・芸術鑑賞会などの企画の用意

【友達同士で出来ること】

2 班

- ・SNS での展覧会の様子や感想を発信
- ・魅力的な写真を広げる → インスタ映え
美術館のカフェの写真とかもきっかけのひとつになると思う！
- ・「好き」と思える作品をさがしたり、それを伝える→アナログ、手書きメモで交流

3 班

- ・画集を開く

当館の所蔵作品集を各学校1冊ずつ配布します。10周年記念(黒表紙)、20周年記念(白表紙)、30周年記念(「落葉」表紙、先日完成したものです。)

- ・初心者向けに手に取り易い本を置く (イラスト、マンガで紹介)

4 班

- ・友人を連れて美術館に行く
- ・友人に語る
- ・SNS の活用
- ・部で定期的に美術館、展覧会等に行って友達に話す (ポスター、プリントで宣伝)
- ・特派員のよさをさまざまな人に知ってもらう

6 班

- ・友達同士で特派員の無料制度の利用
- ・リフォームできれいになった → 「一緒に行こう!!」とか言って誘う。(写真とか・・・)
- ・クラス LINE に投下 (美術館の魅力を)

【美術館と一緒に出来ること】

1 班

- ・POP 制作 (QR コードやカウントダウン)
- ・感想レポートをマンガなどにしてネットに公開

「特派員レポート」は、文章でなくても構いません。イラスト付きや4コママンガ形式、絵で表現等、皆さんの表現の仕方でも構いません。当館 HP に掲載します。顧問の先生には見せてからにしてくださいね。

2 班

- ・音声ガイドのアナウンスを、県内の高校生にお願いする

3 班

- ・協力して大きな作品を作る

4 班

- ・小さめのリーフレット+大きいポスター (作家等の解説)
- ・「美術館だより」(特派員制度のアピール)

5 班

- ・解説→特派員が美術館でその絵についての解説や面白いところを話してそれを美術館で流す。
また、文章を絵の近くに貼る

「私の1点」という取組を行っています。すでに水戸第三高等学校、水戸緑岡高等学校の特派員から感想をいただいております。



- ・○などの図形のポスターをつくる（四角は×）
- ・キャッチコピーをつくる（他とは違うポスターでアピール）
キャッチコピー自体はすでに作っています。展覧会名とあわせてポスター内に書いてあります(キャッチコピーを作らない展覧会もあります)。企画展では難しいですが、所蔵作品展などで特派員と一緒に考えるのは今後考えたいと思います。
- ・インスタ映えスポットをつくる（特派員と美術館で協力）
話し合い後、企画展「清宮質文」で制作しました。ただ今回は、特派員と協力したものではありません。

6班

- ・美術館でチラシを刷って頂き、特派員が配る
- ・イベントの開催（クリスマス、お正月など季節で分ける）

【その他、美術館への要望】

1班

- ・黒板アート→写真撮影をすると入館無料
- ・インスタ映え
- ・美術館をさわいでも良い場所にする
- ・アニメやゲームとのコラボは友達とも行きやすい
- ・体験できるような展示（若者・興味がない人でも楽しめる）
アートフォーラムで展示してみました。
- ・入り口近くでイベント→クリスマスにイルミネーション→人が集まる（写真スポット）
6月2日(土)、3日(日)に「ル・カドー」、11月9日(金)、10日(土)、11日(日)に「マルシェ・ド・ノエル」を美術館の建物まわり(入口付近含む)で行います。
- ・「怖い絵展」→タイトルが興味を引く！カップルのデートスポットにも！！
- ・美術館の壁を虹色に！（インパクト・インスタ映え・JKが来る）

2班

- ・偕楽園との連携
梅まつりの時期にチラシを置かせてもらっています。
- ・(世間的に)話題になる程の「○○展」(マンガ等)サブカルチャー
- ・写真が撮れる場所
- ・芸術・・・分かりづらい、解説が分かりにくい→長い文と短い文両方用意する

3班

- ・「インスタ映え」する展示
- ・親しみ易い要素を加える
- ・おもしろく解説する(デフォルメ、吹き出し)

4班

- ・きんびーくんグッズを作る
今までに、きんびーシール、きんびーバンダナなどのグッズを作りました。
- ・きんびーくんのツイッターアカウント
- ・きんびーくんのイラスト、マンガ
- ・フォトスポット
- ・館内スタンプラリー→スタンプを集めると粗品プレゼント(タオル、展覧会とのコラボのお菓子)
現在、アートフォーラムで中村彝のスタンプラリーを行っています。
- ・館内でワークショップ(若者向け)
展覧会毎にさまざまなワークショップ行っていますので、是非参加してみてください。
- ・SNS等で拡散するとプレゼントがもらえるキャンペーン
企画展ごとに行っております。スマホで画面を見せるとプレゼントがもらえます。

- ・若者が好きそうなセットや展示を企画する
- ・SNS 映えする企画をたてる

5 班

- ・スタンプラリー
美術館をまわってスタンプを集める
スタンプを集めてポストカードなどの景品をつける
所蔵作品シールをプレゼントしています。
ポストカードを集めると1枚の絵になるとか
- ・美術館に足をはこんでもらうために、お菓子やポストカードなどを来場者に配る
- ・話題になる展示（ジnkスを作って広める）→友達に広めたりして美術館にたくさん人が集まるようにする
例）この絵をカップルで見ると永遠に結ばれる

6 班

- ・駐輪場への掲示
- ・若者が好きそうな作品を展示（だまし絵など）
- ・美術館を芸術的に（インスタ映え）
- ・出張美術館→コンビニに協力してもらう
出前イベント「ハロー！ミュージアム」を実施しています。学年やクラス、部活など県内どこへでも無料で
行います。当館所蔵作品を DVD にしたものを持参し、映像を見ながら解説しています。
- ・公式 Twitter で拡散！→友達を誘う！「一緒に行こう！」
平成29年度から公式 Twitter を始めています。

7 班

- ・時間が合わない
- ・家から距離があるから行けない
イベントでイラスト集があれば、アニメ好きな人（絵が好きな人）が来ると思う
→サブカル
- ・紺野真弓さんの展覧会をしてほしい
- ・雰囲気暗くて重いので日本画とか光に弱いものの展示じゃなければもっと明るくしてほしい
- ・学生一人に1枚ずつ配れるチラシが欲しい
- ・展示の仕方に緩急とストーリー性が欲しい
- ・知り合いの絵や好きな作家の絵が飾られていると行こうと思える
- ・触ることのできる絵があるといい
- ・最近インターネットでも気軽に絵が見られる
- ・静かにしてる場所なので友人と来るイメージがない
- ・水戸駅があるためか、高校生が素通りする
- ・時間がない
- ・高校生向けのワークショップをつくってほしい→申し込みがないと気軽に楽しめる
- ・デッサン教室求む
- ・ミュシャが好き
- ・企画展に関連するワークショップをやる
すでに実施しています。
- ・イベントを開催してみる
すでに実施しています。
- ・企画展の内容的に少し来にくい・・・？（敷居が高く感じてしまう）
- ・手づくりの何かを作れるような教室をひらいて、それをお手本として見られるような展示があると見てくれるかも

企画展「清宮質文」（2月23日～4月8日）では、ワークショップ「ガラス絵」を実施しました。清宮質文がかつて制作していたことから、関連したワークショップとしました。制作のお手本になるように、始めに参加者全員で企画展に展示してあるガラス絵を見に行きました。

- ・ポスターの雰囲気がよくない
- ・大きいポスター（廊下掲示用）と小さめのポスター（教室掲示用、生徒一人ひとりに配布しても良いと思う）

大きいポスターは、県内の小中高の学校すべてに配布しています。ですから、それを掲示してください。小さいポスターは、チラシを代用してください。今後、特派員分を配送することになりました。

- ・ポスターのデザインを高校生ウケするようにすると尚良い 例）ヘレンド展
- ・企画展の売店を充実すべき